

令和4年11月30日（水）に町内会役員を対象とした「町内会活性化講座（テーマ編）」を開催しました。講座には18名の方にご参加いただき、「地域住民にしっかり届く町内会の情報発信と町内会運営における情報共有」について講義を聴いたのち、グループに分かれてワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和4年11月30日（水）14:00～16:00

場所：仙台市役所上杉分庁舎2階会議室

参加者：18名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 橋口奈央氏から、町内会における効果的な情報発信のポイントや、世代別の受け取りやすい情報ツール、他町内会のチラシの作成例などの話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、4グループに分かれ、実際にLINEグループをつくることや、LINE公式アカウントを登録してメッセージを受信する体験をしました。さらに「LINEグループを運用する際のルール」と「多くの会員にデジタルツールを使ってもらうための工夫・サポート」をテーマに、グループごとにアイデアを出し合いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

LINEグループの運用ルール

● 時間や言葉遣いに気をつける

- ・ メッセージを送る時間を決める
- ・ 早朝や夜は禁止など、運用時間を設ける
- ・ 悪口を言わない
- ・ 敬称は統一する
- ・ スタンプを濫用しないよう注意する

● 担当者を決める

- ・ 管理責任者をつくり、問題が発生したら解決する仕組みをつくる
- ・ 連絡が取れない役員は担当者がフォローする
- ・ 代表者がメッセージを発信し、返信はメッセージを長押しして出るリアクションマークのみにする
- ・ グループからの退室・削除のルールを決める

デジタルツールを使う工夫・サポート

● できる人から始める

- ・ まずは役員から始める
- ・ 使える人から始めて、だんだん人を増やしていく
- ・ 連合町内会や他団体との緩やかな関係を築く

● デジタルを活用してメリットをPRする

- ・ クーポンを配布する
- ・ 防災など安否確認のツールとしても活用できることをアピールする
- ・ 写真を使った情報発信などができ楽しいことを体験してもらう
- ・ 簡単なゲームを一緒にやってみる
- ・ 子ども向け、高齢者向けにテーマを絞った内容を発信し、興味をそそる
- ・ サロンのボランティアグループでPRする

グループごとの意見・アイデア

LINEグループの運用ルールでは、メッセージを発信する際に時間帯や個人情報に気をつけるといったことや、LINEには詳細部分まで載せず簡潔な文章のみとするといった意見が出されました。また、デジタルツールを使う工夫やサポートでは、デジタルツールに詳しい学生に教えてもらう、できる人から徐々に始めてみるなど導入や運用面の工夫から、写真を使用した情報発信ができるなどLINEのメリットを活かしたPR方法のアイデアが出されました。

グループA

【LINEグループの運用ルール】

- メッセージを送る時間などを制限する
- 簡潔でわかりやすくするために文字数を制限する
- 役員会でLINEで発信する内容をあらかじめ決めておく
- 管理責任者をつくり、問題が発生したら解決の仕組みをつくる

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- 学生ボランティアにサポートしてもらう
- まずは役員から始める
- 連合町内会や他団体との緩やかな関係をつくる

グループB

【LINEグループの運用ルール】

- 早朝や夜は禁止など運用時間を設ける
- 敬称を統一する
- 悪口は言わない
- 敬語は無しにするなどフラットにする
- 連絡が取れない役員のフォローは担当者が行う

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- 更新をこまめに行う
- 外部講師を招いて勉強会を開く
- クーポンを配布する
- 安否確認のツールとしても活用できることをアピールする

グループC

【LINEグループの運用ルール】

- スタンプを濫用しないよう注意する
- 連絡時間を決める
- 個人名や写真など個人の情報は載せない
- 人数を多くしすぎない
- 退室・削除のルールを決める
- 代表者がメッセージを発信し、返信はメッセージを長押しして出るリアクションマークのみにする

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- サポート担当を決める
- 写真などを使い、楽しさを体験してもらう
- できる人から拡大していく
- 防災を切り口に参加してもらう
- 若い人を情報担当にする

グループD

【LINEグループの運用ルール】

- 夜間や早朝は発信しない
- 詳細はPDFを添付するなど、長文はできるだけ避ける
- すぐに返信を求めない
- LINEグループから抜けることも自由にする
- 個人情報や写真に気をつける

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- 楽しい話題を写真などで伝えて、面白がってもらえるようにする
- 使える人から始めて、だんだん人を増やす
- 若い人たちに協力を求める

